

平成28年9月15日

産業建設常任委員会会議録 審査内容

◇会議録

- 1 日 時 平成28年9月15日  
開会 14時07分 閉会 14時25分
- 2 場 所 幕別町役場3階会議室
- 3 出席委員 委員長 田口廣之 副委員長 小島智恵  
委員 荒貴賀 高橋健雄 小川純文(紹介議員) 藤原孟  
議長 芳滝仁
- 4 傍聴者 板垣良輔 小田新紀 内山美穂子 岡本眞利子 東口隆弘  
野原恵子 中橋友子 谷口和弥 千葉幹雄 寺林俊幸  
小山繁樹 横山武 眞尾記者(勝毎) 稲塚記者(道新)
- 5 事務局 事務局長 細澤正典 課長 澤部紀博 係長 佐々木慎司
- 6 審査事件
- 1 付託された請願の審査について  
請願第2号 平成28年台風10号の影響による猿別川樋門の閉門遅延によって生じた農地・農作物の被害に対する支援を求める請願書
- 2 その他  
(1) その他
- 7 審査結果 別紙

産業建設常任委員会委員長 田口廣之

## ◇審査結果

(開会 14:07)

○委員長(田口廣之) ただいまから、産業建設常任委員会を開会いたします。

本日は、請願第2号、平成28年台風10号の影響による猿別川樋門の閉門遅延によって生じた農地・農作物の被害に対する支援を求める請願書の審査を議題といたします。

本請願について、各委員のご意見を伺いたいと思います。ご意見のある方は挙手を願います。

荒委員。

○委員(荒貴賀) 確認だけさせていただきたいと思います。

6か所の樋門からの逆流というふうに趣旨ではあるのですが、今資料をいただいた、この6か所の樋門は閉まっていなかったために逆流したのでしょうか。それとも、樋門が閉まっていたのにも関わらず逆流してしまったのかどうか確認したいと思います。お願いします。

○委員長(田口廣之) 小川紹介議員。

○紹介議員(小川純文) 各樋門であります。通常は樋門というのは、通常の水を流すために開門をしております。特に今回ありましたように、猿別川が増水をしたと、この中で増水をした中の流水が内面に入ってきたという場面において樋門を閉めるという、樋門としてはそういうシステムだと思います。その中で、今回6か所ということで、ここにも位置図が示されていると思いますけれども、樋門によって高さの違い、川と一定の高さの所に樋門が設置されているわけではなくて、そのあるところ、あるところの現状に合わせた中での樋門の設置という形になっておりますので、増水時に水位が上がっているときも、増水時にまだそこまで達してない樋門、多々あります。その中で今回6か所の樋門については、当初は開門されていたように思われます。そして、増水により流水が逆流をしたという関係になっています。

その後、樋門等を確認しながら内水、外水の量によりまして、閉門された樋門と閉門しなかった内水をまだ流せる樋門と、内水に逆に流水が入ってきたような樋門との中で流水が入っている樋門については閉門をしたということになります。以上です。

○委員長(田口廣之) よろしいですか。ほか意見はございませんか。

高橋委員。

○委員(高橋健雄) 樋門を閉めるのが遅れたという話なんですけれども、私、旧途別川と稲士別の合流点付近では、夜の2時頃にはそのような大規模な増水のような様相ではなかったのですが、朝4時頃に確認したところ、かなりの増水ということがみられていたのですが、おそらく、その幕別ダムを放流した関係で、後から放流したと聞いたのですけれども、放流した以後に、3時か、2時にしか見ていないのでわかりませんから、4時頃なので。どの時点で増えてきたのかわからないのですけれども。幕別ダムの放流により、かなりの増水が私はみられたのではないかと思うのですが、さっきの民生常任委員会の話によると、幕別ダムは10号の前に満水状態だったというような話をちらっとしていたんですが、平常時に幕別ダムが満水だったのであれば、平常時に排水をして、大雨のときに備える体制を整えておけなかったものかお伺いしたいのです。

○委員長（田口廣之） 小川紹介議員。

○紹介議員（小川純文） この請願とは位置的に違うかと思えますけれども、ちょっと訂正の部分もありますので説明させていただきます。そんなことで、ちょっとこの請願2号とは違うのですけれどもよろしいですか。

○委員長（田口廣之） はい、よろしいです。お願いします。

○紹介議員（小川純文） 今言われました、先ほども民生常任委員会の中でご説明させていただきましたけれども、通常的感覚の中ではというお話しで、雨の降る量がそんなにひどく害な大雨ではなかったような感じの中で、これだけ川が異常増水をするような、今回は札内川だとか十勝川も非常にこの台風10号では、大きな異常増水をみたのですけれども、猿別川についても同様でありまして、私の記憶の中では猿別川も改修をしていただきまして、新しい堤防等々がもう10年前に改修をされまして完成をしておりますけれども、堤防の裾まで水が来たのは今回がはじめてであります。それまでは、いままでのいろんな台風等々、春の大雨等々でもそれだけの増水をみたことはございません。

また、この請願とはちょっと違うかもしれませんが、幕別ダムについては、上から放水する機能は持っておりません。下から通常放水というのが、非常にそんなに大きな量ではない中で、下からの自然放水と干害による水理がない限り水は減らないと。要するに減っていかないという状態であります。ですから、そのへんの数字というのは、私の段階では細かく分かりませんが、状況としては満水に近い状況であったために越水が早かったということでもあります。以上であります。

○委員長（田口廣之） 高橋委員。

○委員（高橋健雄） わかりました。請願とはちょっと違ったんですけども、おそらく、あの調子で時間的に稲士別川の増え方をみると、猿別の出合いでは、かなりの大水になったのだろうと私は思ったのでダムの話をしただけなのですけれども。それで、猿別川の堤防のかさ上げをしてから樋門の位置が堤防の堤頂の上より低くて、地元の山田守治さんに聞いたら、4時頃に樋門の上を飛び上がって押し寄せてきたと言うのだけれども、最終的に先ほど民生常任委員会のところで、除水機を付けたほうがいいのではないかという話もあったのですけれども、樋門が先にできて、その後、堤防をかさ上げしているので、樋門の位置が堤防より低いと。そこから水が上を越えてすごい勢いで入ってきたと、内水に。ということで、除水機の話もなんですけれども、そこに取水壁というのですか。堤防と同じ高さまでに樋門の状態をなるようなことにはならないんですか。

○委員長（田口廣之） 小川紹介議員。

○紹介議員（小川純文） 今回の請願で出している2号のほうは、そこに芽室本線があります猿別鉄橋から以南の関係でありますので、多分、今高橋委員が言ってらっしゃるのは猿別水門の関係だと思えますので、この図の説明でいきますと、線路がありまして、上側が先ほどの請願第1号で出させていただきました猿別水門に関わる関係。今産建でご審議を願っているのは、この線路から、この紙でいきますと下側の黄色く書いた樋門が6つと樋門の名称を書いた樋門が3つある、この関係についての請願であります。以上です。

○委員（高橋健雄） わかりました。

○委員長（田口廣之） 今高橋委員から出ました幕別ダムの放水が10号の前にも満水になっていたとか、樋門が低いのではないかということは、また違う検証の方法になると思いますので。違う機会にと 생각합니다。ほかに。

藤原委員。

○委員（藤原孟） 樋門の開閉が遅れたということですが、これ樋門を閉めたら内水から来る水はどこへ行くのですか。紹介議員、簡単に説明してください。

○委員長（田口廣之） 小川紹介議員。

○紹介議員（小川純文） 樋門のあるところには、大体樋門に通常としては水が流れるように、樋門に沿ってその周りの農地ですとか、いろんな町から集まってくる水に対しての明渠というものが、川から樋門までも水路というので樋門まで繋がっていますし、堤防の中を越えて樋門がありますとそれから明渠という形で樋門の周りは整備されています。流水の逆流を止めたという想定でありますけれども、止めれば今度、堤防の外側といいますか、内水の関係はその樋門の所を中心にとんどん溜まっていきます。

ですから、それに流入する流量の多い明渠であれば、内水が溜まるのも早いですし、少なければ、内水が溜まるのも少ないというような状況です。あとは、水位を見ながら開閉を調整しながら流すというような仕組みであります。以上です。

○委員長（田口廣之） 藤原委員。

○委員（藤原孟） 結局、猿別川の増水をいかにまず食い止めるか。それには、猿別川の河道の整備をまず管理者にやらしてもらわなければならない。なおかつ、樋門に接続する明渠の幅だとか、流下断面、貯留断面の拡幅もしてもらわなければならない。それは、管理者、町であったり土現であったりするのではないかと。そこに対してやはり強く要望しなければ、この問題はいつまでたっても解決しないのではないかと 思います。そのへんのことを紹介議員にちょっとよろしくお願いします。

○委員長（田口廣之） 小川紹介議員。

○紹介議員（小川純文） 非常に原因となるところのお話しだと思いますけれども。

その事例でいきますと、この書いてある用紙の線路の一番近くに、この閉めていないという印になっています猿別川樋門というのがあると思います。これは、通常の樋門より大きい2連の構築物で普通の樋門の約倍以上の大きさの樋門となっております。この樋門に関しましては、上流から豊岡川というものが直結をしていて、それと今藤原委員が言われたとおり猿別川の河床が非常に高い。ですから、樋門からの流水能力が非常に下がっているという現状にあります。ですから、今回本当に真夜中に緊急増水があつて、樋門から逆流をしたという事案でありますけれども、その要因の一つとしては、長年による猿別川、そして、またこの猿別川は鉄橋を境として下流側が帯広開発建設部、鉄橋を境として上流部が十勝合同庁舎の中にある帯広十勝建設管理部ですか。そういうふうに管理部局が、鉄橋を境としてありますので、その連携もしていただかなければなりませんし、要因であります猿別川の床下げというものを緊急に実施していただかなければ、また似たような、特にこの鉄橋近くの猿別川樋門というところは、毎度雨が降るたびに冠水を受けている場面も多々ありますので、その点もよろしくお願いをしたいと思います。以上です。

- 委員長（田口廣之） ほかにありませんか。  
意見がないようですので、次に討論に入りたいと思います。  
請願に反対する討論はありますか。  
（なしの声あり）
- 委員長（田口廣之） 反対の討論がないようなので、これより採決を行います。  
請願第2号、平成28年台風10号の影響による猿別川樋門の閉門遅延によって生じた農地・農作物の被害に対する支援を求める請願書について採択することにご異議ございませんか。  
（異議なしの声あり）
- 委員長（田口廣之） 異議なしと認めます。したがって、請願第2号、平成28年台風10号の影響による猿別川樋門の閉門遅延によって生じた農地・農作物の被害に対する支援を求める請願書は採択することに決定いたしました。  
続きまして、もう1件採択することがあります。  
この請願書の経過および結果報告を町長に請求したいと思います。  
皆さんご異議ございませんか。  
（異議なしの声あり）
- 委員長（田口廣之） 異議がないということなので、この請願書に対する経過および結果の報告を町長に請求することを決議したいと思います。  
なお、本件の報告書につきましては委員長、副委員長に一任していただきたいと思いますがよろしいでしょうか。  
（よいの声あり）
- 委員長（田口廣之） では、そういうことでよろしくお願ひしたいと思います。  
以上で本日の常任委員会を閉会したいと思います。  
（閉会 14：25）